

# 事務事業事後評価シート[令和1年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	企画部都市プロモーション課	■担当係	広報コミュニケーション係
■評価事業名称	広報事業(広報紙発行等)		
■事業開始年度			
■評価事業コード	010300 - 101	■会計区分	一般会計
■総合計画での位置づけ	■政策	06 市民が主役となり企業や行政と協働するまちづくり	
	■基本施策	04 信頼ある開かれた行政の推進	
	■施策	01 情報公開の推進	
■事業の種類	05 ソフト事業(任意)	■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの		
■法令等の名称			
■関連計画の名称			
■事業の目的と概要	行政と市民との双方向のコミュニケーションを意識した情報発信および市外に向けた情報発信。広報紙、市勢要覧と同ダイジェスト版の発行。		

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	令和1年度事業計画	令和1年度事業量実績
01	広報事業(広報紙発行等)	市民等	○広報紙は月2回(第2・4金曜日)年24回発行(全世帯および市内事業所、県内外自治体など・1回当たり約37,000部)○市勢要覧ダイジェスト版300部発行○市勢要覧300部増刷	○広報紙は月2回(第2・4金曜日)年24回発行(全世帯及び市内事業所、県内外自治体など・1回当たり約37,500部)○市勢要覧200部増刷○市勢要覧ダイジェスト版300部発行

## 3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和1年度	備考
直接事業費	18,523	19,463	19,790	23,935	
人件費	29,810	33,489	32,128	30,865	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	48,333	52,952	51,918	54,800	

## 4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	28年度	29年度	30年度	1年度	指標の説明
01	広報きたかみの全世帯配布	874,450部	879,505部	888,785部	901,140部	行政区長や地域の協力により全戸配布が実施されている。
02	北上記者クラブへの情報提供件数	1,007件	986件	1,015件	1,011件	紙、FAX、メールでの情報提供。市長日程、慶弔も含む。
03	広報紙印刷の1部当たりコスト	55.27円	60.21円	58.41円	60.81円	フルコスト/広報配付部数

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

行政区長や地域の協力により広報紙を市内全世帯へ配布し、市内全域へ情報発信を行っている。市勢政要覧は、視察等の際に配布を行い市の紹介に利用している。

問題点・課題等

情報量や文字が多く求心力を損ねる紙面になることがある。市民が求める情報と行政が発信したい情報にズレがある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響・貢献度

- 事業の廃止により重大な問題が発生する
- 事業の廃止により何らかの問題が発生する
- 事業の廃止による問題は想定されない

4. 市民生活・企業活動への貢献度

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持に一定程度貢献している
- 市民生活・企業活動の維持への貢献度は低い

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

写真やグラフなどを利用して、視覚的に理解しやすい紙面づくりを行う。また、定期的にアンケートを実施して意見を聴取する。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了